

4日目 症例カンファレンス

【症例カンファレンスにおける研修医の主体的学習参加について考える】

目的： 現実検討能力が低下した統合失調症患者の退院後の地域支援について検討するための関係者によるカンファレンス

参加者： 保健所職員〔保健師（指導者）精神保健担当者，保健所長〕，地区担当民生委員，福祉事務所ケースワーカー，G病院精神保健福祉士，援護寮職員，研修医，評価者

主治医の意見： 今回の入院のきっかけとなった事件について患者は、「若い女性はしばしば見かける女性であり，自分をつけてくるような感じがしたので好意を感じてナンバしようと思った。」と述べるなど勝手な思いこみ（関係妄想）があった。また，長期入院により何十年も関係しなかった建築の仕事を今でもできると思いこむなど現実検討能力が低下している。一見単独での社会生活が可能に見えるが，関係者による見守りがないと同様の逸脱行為が生ずる恐れがある。患者より退院要求が出ているが，現状で市営住宅への退院は不安であり，社会資源を活用して地域での生活ができるよう関係者で支援して欲しい。

症 例： K. K. 昭和 13 年 4 月 1 日生 64 歳 男性

診 断： 統合失調症

家族歴： 遺伝負因は認められない。同胞は姉二人，兄二人の末っ子である。

現病歴： 高等学校卒業後，家業の建築の仕事を手伝っていたが，26 歳で上京し，A 建築設計事務所に就職した。28 歳の頃「誰かが狙っている」「カメラでつけねられている」といった症状が発現し，B 病院精神科で半年間入院治療を受けた。退院後，C 設計事務所に勤めたが，1 年後症状が悪化し D 大学病院で半年間入院治療を受けた。外来通院していたが，37 歳頃より好轉的となり E 精神科病院に 2 年間入院した。39 歳時長兄に被害妄想を抱き熱湯をかけ警察沙汰となった。40 歳より E 精神科病院に再入院となり，以来長期入院をした。58 歳時に腎癌が発見され D 大学病院で手術を受けた。59 歳時に肺転移が発見され，同大学病院でインターフェロンの治療が開始された。退院後，F 精神科病院に入院することとなり，3 年間入院した。その間は，陽性症状及び陰性症状とも認めず，寛解状態といえ，外出なども自由にできるようになっていた。

62 歳時，F 精神科病院長の勧めで G 病院の精神障害者生活訓練施設（援護寮）に入所した。この際，生涯精神科病院に入院させておくつもりであった保護者である長兄は，なかなか同意してくれなかった。入所後，患者は「設計事務所に雇ってもらおう」「建築会社の設計の仕事を下請けでやる」「改修の仕事を知り合いの設計事務所に斡旋する」と言っては工務店，設計事務所，昔の友人宅を訪れたり携帯電話で連絡を取るなどをし，相手にされなかったり迷惑がられても仕事をしているつもりでおり，現実検討能力が低下した状態にあった。63 歳時に援護寮を退所し，アパート暮らしをしようと長兄と掛け合ったが兄は頑として保証人となることを拒否した。市との交渉の結果，市営住宅への入居が可能となった。生活保護を受給して暮らし G 病院への通院も定期的に行っていた。64 歳時，若い女性に声を掛けつきまとう行為が見られ，警察に通報され保護された。警察より入院依頼があり，地区の民生委員と警察官に伴われて G 病院を受診し，患者自身も希望し任意入院として入院した。1 ヶ月後，退院し社会復帰したいとの要求が保健所に寄せられた。

評価項目 (Aグループ)

所長(司会者)	事前		事後	
	はい	いいえ	はい	いいえ
会議の目的を明確にしたか？	○		○	
役割分担を明確にしたか？	○		○	
研修医へ会議に参加を促したか？		○	○	
研修医への発言を促したか？		○	○	
参加者の話を聞いたか？	○		○	
会議を展開させていたか？		○	○	
会議のマナーを守っていたか？	○		○	
会議を円滑に運営したか？		○	○	
会議の終わりに道筋をつけたか？	○	○	○	

保健師(指導者)	事前		事後	
	はい	いいえ	はい	いいえ
研修医へ会議に参加を促したか？		○	○	
患者の立場を正確に説明できるか？	○		○	
病状・社会資源などをわかりやすく説明できるか？	○	○	○	
参加者の話を聞いたか？	○		○	
例示して説明できるか？	○		○	
会議のマナーを守っていたか？	○		○	

評価項目 (Bグループ)

保健師 (指導者)

はい いいえ

	はい	いいえ
研修医の意見を引き出したか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
研修医の質問を引き出したか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
症例の紹介は研修医に理解できるものであったか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
研修医発言を補足する説明があったか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
研修医が理解できるように他の担当者の発言に補足説明したか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
研修医の質問に答えているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
必要な情報 (介護保険の視点等を含む) が提示できたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

はい いいえ

	はい	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

所長 (司会)

はい いいえ

	はい	いいえ
研修医を紹介したか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
研修医の意見を引き出したか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
研修医の質問を引き出したか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
研修医発言を補足する説明があったか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
研修医が理解できるように他の担当者の発言に補足説明したか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
研修医の質問に答えているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
カンファランスに必要な情報を持っているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
全ての担当者に討論させているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
結論をまとめるためにリーダーシップをとれたか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
冒頭にカンファランスの狙い等を明確に示したか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
議論が停滞したときに発言を促せたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

はい いいえ

	はい	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

C グループ ケースカンファレンス

指導者評価票	事前		事後	
	はい	いいえ	はい	いいえ
【共通】				
発言時の了承をきちんと得たか		○	○	
他人の意見の傾聴したか	○		○	
他者の意見の意図を明確にして、それに適切に答えようとしたか		○	○	
【指導者（司会者）固有】				
最初にカンファの目的を明確に説明したか		○	○	
問題点の整理にむけた進行を行ったか		○	○	
事例を詳細に事前把握していたか		○	○	
指導医の補助者として研修医の適切な参加を促したか		○	○	
会議の目的が達成されたか		○	○	
発言者全員の意見を聞くなど、適切なコントロールを行ったか		○	○	

保健所長評価票	事前		事後	
	はい	いいえ	はい	いいえ
【共通】				
発言時の了承をきちんと得たか		○	○	
他人の意見の傾聴したか	○		○	
他者の質問の意図を明確にして、それに適切に答えようとしたか		○	○	
【所長】				
主催者の代表として、あいさつを適切におこなったか		○	○	
所長は専門家として適切なアドバイスをおこなったか		○	○	
司会者との役割分担が適切にできていたか		○	○	
会議の目的は達成されたか		○	○	
指導医として、研修医の発言を適宜引き出したか		○	○	

Dグループ

チェックリスト (Check List)

指導者 (保健師)

	はい	いいえ	はい	いいえ
1. 参加者にねぎらいの言葉をかけたか。			<input type="radio"/>	
2. 進行の仕方は適切か。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
3. 発表のしやすい雰囲気を作っていたか。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
4. 議論の方向性を修正できたか。		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
5. 適切なタイミングで論点をまとめられたか。		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
6. 一部の人に発言が集中していなかったか。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
7. 社会資源について十分な知識をもっていたか。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	

保健所長

1. 冒頭にカンファランスのねらいを説明したか。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
2. 参加者にねぎらいの言葉をかけたか。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
3. 適切なタイミングで助言をしたか。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
4. 適切な内容の助言をしたか。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
5. 論点を外れたとき方向を修正できたか。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
6. 研修医に発言の機会を与えたか。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
7. 保健所長として必要な知識を持っていたか。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	

4日目 目標、学習・評価方法の設定、ケースメソッド
最終報告

臨床研修指導医養成講習会（地域保健・医療）グループワーク・プロダクト

以下の様式で各グループ・プロダクトを作成

1. 到達目標

各グループのテーマについて、達成されると想定される到達目標を、臨床研修の到達目標「医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令の施行について」より複数選択

2. 一般目標：GIO、行動目標：SB0s

テーマについて一般目標：GIOを設定し、GIOを達成するために必要な行動目標：SB0sを設定

3. 総括的評価として、どの行動目標：SB0sについて、どのような基準で達成とするかを明記

4. 週間スケジュール

行動目標：SB0sを達成する上で必要な場面を設定

5. 学習方法（方略＝方法＋戦略）

週間スケジュールの場面ごとでどのような方法で学習させるのか、具体的には研修医への学習内容、指導医としての指導内容、注意点、それに必要な指導者または補助者、学習媒体を明記

6. 評価方法

- ① 形成的評価として、週間スケジュールの各場面での各行動目標：SB0sについて、いつ、どのように評価するのか（評価方法）を明記
- ② 指導医へのフィードバック方法について明記

7. ケース設定（ケースメソッド法による）

テーマにそったケースを設定し、行動目標：SB0sを評価するための設問および解答ポイントを設定

Aグループ

保健行政システム

達成される到達目標

保健所の役割について理解し、実践する。
保健医療法規・制度を理解し適切に行動できる。

一般目標：GIO→

臨床医に必要な行政システムを理解し適応できる。
医療の社会性を向上させる能力を身につける。

行動目標：SBOs→

1. 各種届出の仕組みを理解する。
2. 保健行政システムの流れを理解する。
3. 法制度の仕組みを理解する。
4. 予算の仕組みを理解する。
5. 行政判断(権限)を知る。
6. 地域の社会資源を知る。
7. コミュニケーション能力(所内・所外)を身につける。
8. 各種届出の不備を指摘できる。
9. 保健行政としての患者支援ができる。
10. 社会資源を活用できる。
11. 関係者・関係機関の調整ができる。

週間スケジュール	○月○日 月	○月○日 火	○月○日 水	○月○日 木	○月○日 金
午前	オリエンテーション 発生届けの確認	研修会資料作成	家庭訪問 病院訪問	所内検討会 結核診査会準備	研修会・会議
午後	結核検診(定期外検診) 模擬演習	医療監視	定期外健診 サーベイランス入力 模擬演習	結核診査会 結核事務の流れ	まとめ

どの様な基準で達成とするか		評価する行動目標：SBOs
1) 行政システムにおける届出の重要性を理解できたか？		<ol style="list-style-type: none"> 1. 各種届出の仕組みを理解する。 2. 保健行政システムの流れを理解する。 3. 法制度の仕組みを理解する。 5. 行政判断(権限)を知る。
2) 行政による監視指導の意義を理解できたか？		<ol style="list-style-type: none"> 2. 保健行政システムの流れを理解する。 3. 法制度の仕組みを理解する。 5. 行政判断(権限)を知る。
3) 地域における医療機関と社会資源との連携の重要性を理解し適応できたか？		<ol style="list-style-type: none"> 6. 地域を社会資源を知る。 7. コミュニケーション能力(所内・所外)を身につける。 10. 社会資源を活用できる。 11. 関係者・関係機関の調整ができる。

場面	行動目標 SPOs	指導者、補助者 所長、課長	学習方法(方眼)		評価方法			
			研修医への学習内容 結核予防法に基づく制度のしくみを指導する。	指導医としての指導内容 結核予防法に基づく制度のしくみを指導する。	学習媒体 資料 法令集 紙	どのように評価するか	いつ	
オリエンテーション	法のしくみを理解する。	所長、課長	研修医への学習内容 結核予防法に基づく制度のしくみを指導する。	指導医としての指導内容 結核予防法に基づく制度のしくみを指導する。	資料 法令集 紙	指導医へのフィードバック		
届出の受理	各種届出の仕組みを理解する。 各種届出の不備を指摘できる。	担当者	結核予防法を理解し、申請書と届出票の不備を理解する	正しい届出票の例示	届出票 申請書	口頭確認	分からないことは直ぐに聞く。	
監視	保健行政の流れを理解する。 行政判断(権限)を知る。	医師 薬剤師 保健師ほか	監視の意義と重要性の理解 医療法の理解 院内感染防止対策の理解	院内感染防止対策	監視資料	レポート	レポートから到達度をみる。	
定期外検診	保健行政の流れを理解する。 コミュニケーション能力を身につける	担当医 放射線技師 保健師	問診 診察	お手本を示す。 監督	ビジュアルカード	実施試験(観察記録)	一場面ごとに質問・フォローする。	
家庭訪問	コミュニケーション能力を身につける。 患者支援ができる。 社会資源を活用できる。 関係者関係機関の調整ができる。	保健師	社会資源を知り、関係機関と調整し、コミュニケーション能力を身につける。	面接技法を学ばせる。	ビジュアルカード	観察記録(実施試験)	訪問ごとに質問・フォロー	
所内検討会	行政判断(権限)を知る。 各種届出の不備を知る。	所長 担当者	定期外検診の方針決定のプロセスを通じて行政判断	助言	ビジュアルカード 届出票	実施試験(観察記録)	各議論ごとに質問・フォロー	
結核診査会	予算のしくみを理解する。 行政判断(権限)を知る。	所長 審査委員 担当者	行政の諮問機関としての役割を理解する。	指導	ビジュアルカード 届出票 レントゲン	実施試験	プレゼンテーションの内容	
サーベイランス入力	行政システムの流れを理解する。	担当者	統計情報(の理解、集団としてみる視点)をもち、行政の役割を理解する。	サーベイランス入力、見方を指導	パソコン 届出票	口頭試問	分からないことは直ぐに聞く。	
研修会資料作成	行政システムの流れを理解する。 法制度のしくみを理解する。	テーマの担当者	行政システムと法制度を整理した資料作成ができる。	資料作成の助言および指導	紙、資料	実施試験	分からないことは直ぐに聞く。	
結核事務の流れ	行政システムの流れを理解する。 予算のしくみを理解する。	所長、担当者	患者鑑行、決裁の流れを理解し、予算と行政事務を	説明	パソコン 患者票	口頭試問	分からないことは直ぐに聞く。	
研修会・会議	コミュニケーション能力を身につける。	所長	研修会や会議の目的を理解し、運営方法を学び、コミュニケーション能力を身に	積極的に適切な場面で参加させる。	資料	実施試験	終了後に質問する。	

保健行政システム

Case Study
結核対策、院内感染対策を通して

1

結核患者の届け出

- 河北太郎医師から保健所に結核の届け出
- 患者：和光花子、45歳、女性、看護師
- 主訴：2ヶ月間の咳
- 痰検査：抗酸菌塗抹陽性(G5号)

2

Q:この患者さんについて、結核予防法のどの項目が関連していますか？

3

結核予防法

- ポイント
 - 届け出
 - 公費負担制度
 - 命令入所
 - 患者登録票作成
 - 患者面接、家庭訪問
 - 定期外健康診断

4

Q:あなたは、何を目的に、どこから、どのような追加情報を収集しますか？

5

疫学調査

- ポイント
 - 医療機関からの情報収集
 - 感染源調査や接触音調査の資料とするため
 - 本人や家族から
 - 生活、行動、感染源等について情報を集める

6

和光花子さんの調査結果情報

- 職業：H訪問看護ステーションの看護師
 - 診断直前まで訪問看護師の仕事を継続
- 6ヶ月前に関連施設であるH病院から転勤
- 過去2年間は職場の健康診断未受診。医療機関受診もなし。
- 前職場で、2年前に結核患者の看護をした直後に胸部X線検査(CXR)を受けたが、異常を指摘されなかった。

7

Q:定期外健康診断とは何ですか？

8

定期外健康診断

- ポイント
 - 接触者の健康診断
 - 定期以外の健康診断

9

Q:どのように定期外健康診断を行いますか？

10

定期外健康診断の実施

- ポイント
 - 接触者調査
 - 健診範囲、健診時期、健診方法の検討
 - 健診の実施
 - 健診結果の分析
 - 健診後の対応

11

Q:感染源調査はどのように行いますか？

12

感染源調査

- ポイント
 - 特に過去2-3年の感染性結核患者との接触歴の有無を確認する。
 - サーベイランスデータを確認する。
 - 感染源調査対象
 - 家族
 - H訪問看護ステーション
 - 職員、利用者とその家族
 - H病院
 - H病院へ調査を行うことを連絡する。

13

訪問看護先から結核患者発見

- 保健所の定期外健診で発見
- 患者：日元肇さん
 - 70歳男性、半身不全麻痺、杖歩行
 - 痰抗酸菌塗抹検査陰性、結核PCR陽性
 - CXRIにて結核を思わせる陰影有
 - 全身状態は比較的良かったが服薬管理困難
- 方針
 - 在宅でDOTSを実施することになった。

14

Q:DOTSの必要性について述べて下さい。

15

DOTSの必要性

- ポイント
 - 治療中断者の予測ができない。
 - 治療中断は、再発と耐性結核の発生につながる。
 - 患者の服薬を直接確認する。

16

Q:日元肇さんのDOTSを実施する際に、連携する社会資源は何ですか？

17

社会資源の活用

- ポイント
 - 訪問看護ステーションと連携
 - 医療機関(主治医)との連携

18

保健所によるH病院の調査

- 非結核専門病院
- 院内感染症対策委員会
 - 実質的には機能していない。
 - 院内感染症対策委員長は29歳男性内科医
- 2年前に66歳女性の松竹梅子さんが結核であった
 - 保健所には届け出ていない。
 - 診断直後に、患者入院病棟スタッフ全員のCXR検査を実施したが、異常者はいなかった。

19

患者診断時の対応の問題

- ポイント
 - 保健所への届け出がなかった。
 - 松竹梅子さんが一般病棟へ入院していた。
 - 公費負担申請がなかった。
 - 接触者健診について保健所に相談がなかった。

22

松竹梅子さんへのH病院の対応

- 66歳女性、G3号、2ヶ月間の咳
 - 地域の目を気にして、主治医の神奈原次郎医師へ「自費診療で内留にしてくれるよう」依頼した。
 - 主治医である神奈原次郎医師は、患者の松竹梅子さんの意向に従い、入院・内服治療を実施した。
 - 保健所へは届け出なかった。
 - 院内感染症対策委員会へ連絡したが委員会は開催なし
 - 結核診断直後に入院病棟スタッフのCXR検査を1回実施、異常者はいなかった。
 - 患者発見1年後の職場定期健診を、和光花子さん受けていなかった。

20

Q: 結核患者が発見された時の病院としての対応の問題点を挙げて下さい。

23

保健所の指導

- ポイント
 - 臨時立ち入り検査
 - 指導
 - 改善計画書を求める
 - 改善計画の実施の確認

25

Q: 保健所は、医療法違反に対する指導をどのように実施しますか？

25

Q: 保健所として、松竹梅子さんへのH病院の対応における問題を挙げて下さい。

21

結核への病院の組織的対応

- ポイント
 - 定期外健診の進め方が不適切であった。
 - 院内感染症対策委員会が開催されていなかった。
 - 職員健康管理が徹底されていなかった。
 - 未受診者が確認されていなかった。

24

Bグループ 感染症対策（結核を含む）

達成される到達目標
保健所の役割について理解し、実践する
関係機関や諸団体の担当者とのコミュニケーションがとれる
保健医療法規、制度を理解し適切に行動できる

一般目標：(GIO)
医師として感染症を診断したとき、感染拡大防止のために必要な対応を理解し実践できる
関係法規を理解し、行政対応を知る
人権に配慮して行動できる

行動目標：(SBOs)

- ① 届け出後の行政対応を理解する
- ② 公費負担制度の利用が適切にできる
- ③ 患者家族のプライバシーに配慮して対応する
- ④ つねに集団感染を念頭においた対応が出来る
- ⑤ 正確な情報に基づいて保健所、院内感染対策委員会と連携し院内感染感染拡大防止ができる
- ⑥ 疾患に対応した消毒を理解する
- ⑦ 感染症対策について患者、家族に説明できる
- ⑧ 感染症結核サーベイランスが利用できる
- ⑨ 予防接種を理解し説明できる
- ⑩ 感染症に応じた検査診断が行える
- ⑪ 結核の標準治療およびDOTを行える

第1週

週間スケジュール	○月○日 月	○月○日 火	○月○日 水	○月○日 木	○月○日 金
午前	オリエンテーション	訪問準備	審査会準備	サーベイランス	管理・接触者検診
午後	模擬演習(ケース1) 結核受付	病院訪問	家庭訪問	結核診査会	模擬演習(ケース1) 中間評価

第1週の目標:結核という一つの感染症を題材にブライバシーに配慮した感染症の基本的な面接が行える、関係法を理解し行政対応の流れを知る

第2週

週間スケジュール	○月○日 月	○月○日 火	○月○日 水	○月○日 木	○月○日 金
午前	模擬演習(ケース2)	予防接種の事前 演習	講演会予行演習	衛生研究所	HIV検査・面接
午後	食中毒の立ち入り	予防接種	医療機関立ち入り	感染症講演会	模擬演習(ケース2) 最終評価・総括

第2週の目標:第1週を土台にして、他の感染症への対応を知る、関係職種・関係機関との連携を学ぶ

どのような基準で達成とするか	評価する行動目標:SBOs
医師として感染拡大防止について説明できる	④ ⑤ ⑥ ⑨
人権に配慮した対応ができる	③ ⑦
届出票の記入ができる	① ② ⑧

場面	行動目標		学習方法(方略)				評価方法			
	SBOs	研修医への学習内容	指導者としての指導内容	注意点	学習媒体	いつ	どのように評価するか	指導医へのフィードバック		
オリエンテーション		2週間の研修の流れを知る	研修医としての指導内容 2週間の研修の流れを知らせる	職員に研修医の存在を知らせてもらう			どのように評価するか	1週目から2週目へスムーズに移行できるようにする		
模擬演習	①から⑩のすべて	保健所の組織を理解する 感染症対応をするときのポイントを知らせる	保健所の組織を理解させる 研修期間中にどんなことを学んだか気づかせる	1回目と2回目の変化に気づかせる	開始時→ 第1週終了時→ 第2週開始時→ プログラム終了時→ ビジュアルカード記入後	模擬演習(ケースメソッド1) 模擬演習(ケースメソッド2) 模擬演習(ケースメソッド2)	模擬演習(ケースメソッド1) 模擬演習(ケースメソッド2) 模擬演習(ケースメソッド2)	研修医に答えを出させるようにする		
結核受付(保健所面接)	①届け出後の行政対応を理解する ②公費負担制度の利用が適切にできる ③患者家族のプライバイシーに配慮して対応できる ⑦感染症対策について患者、家族に説明できる ⑨予防接種を理解し説明できる	結核予防法の内容、届出、公費負担申請 ビジュアルカードの理解、記載 添付X-PPのチェックをする プライバイシーを配慮した面接が行える 服薬支援・結核治療を知る	保健所との信頼関係をつくらせる	プライバイシーの保護	申請書 参考書 ビジュアルカード			記入後の検討会		
結核の病院訪問	①届け出後の行政対応を理解する	本人・接触者の情報収集	相手との信頼関係をつくらせる	プライバイシーの保護	医師 保健師			記入後の検討会		
家庭訪問	①届け出後の行政対応を理解する ③患者家族のプライバイシーに配慮して対応できる ⑦感染症対策について患者、家族に説明できる ⑧結核の標準治療およびDOTが行える ⑨つねに集団感染を念頭に適切な対応が出来る	プライバイシーを配慮した病气予後の説明が行える 結核の感染拡大防止の指導 医療従事者防止指導を行う データ解析	患者の社会的状況に配慮した面接指導を行わせる 治療終了の確認、フォローの必要性の理解をさせる サーベイランスの意義を理解させる	プライバイシーの保護	保健師 医師 入力担当者	病院訪問後、記録記入後 家庭訪問記録記入後	実際に保健師が患者面接。訪問記録記入後、質問。 実地試験 観察記録 口答試験	研修医が主体的に面接を行ったか。 記入後の検討会		
サーベイランス入力	⑧感染症結核サーベイランスが利用できる					実施後				
結核診査会(所内検討会)	②公費負担制度の利用が適切にできる ④つねに集団感染を念頭に適切な対応が出来る ⑤正確な情報に基づいて保健所、院内感染対策委員会と連携し院内感染感染拡大防止ができる ⑩感染症に適切な検査診断が行える	結核診断 非定型抗酸菌について知る 結核予防法34・35条 定期外検査計画	患者の不利益にならないように情報を収集しプレゼンテーションを行う	承認を妨げる要因に事前気づく	検査会資料 診査会資料	診査会終了後	プレゼンテーションを行う。定期外検査計画を立案する。 実地試験	所内検討会後の意見交換会		
管理・接触者検診	①届け出後の行政対応を理解する ⑦感染症対策について患者、家族に説明できる	X-PP読影と分類 ツ反接種と判定	管理検診の意義を教える 再発率についてもコメントする	対象者への十分な説明	結核予防会出版物 食中毒のリーフレット 参考書	管理検診終了後	実際に読影、ツ反判定、指導を行う 口答試験 レポート	管理検診後の検討会 重要ポイントを理解しているか		
食中毒の面接・立ち入り(消毒)	⑤正確な情報に基づいて保健所、院内感染対策委員会と連携し院内感染感染拡大防止ができる ⑥疾患に対応した消毒を理解する	感染症発生時消毒のポイントを理解する 監視員の役割を理解する 喫煙調査、健康調査を行うことが出来る	食品衛生法と立ち入り検査の意義を理解させる 現場でのチェックポイントの理解をさせる 立ち入り後の説明での配慮事項の理解をさせる	(再発を含めて)		立ち入り検査終了後				
予防接種	⑨予防接種を理解し説明できる	保健所で実施する予防接種をし全体の流れを理解する	保護者への説明や相談への対応を学ばせる	正しく安全に接種する	テキスト	準備時	シミュレーション 客観試験	知識のみに終わらずポイントを理解しているか		

場面	行動目標		学習方法(方略)				評価方法		
	指導者、補助者	研修医への学習内容	指導医としての指導内容	注意点	学習媒体	いつ	どのように評価するか	指導医へのフィードバック	
立ち入り(医療機関)	⑤正確な情報に基づいて保健所、院内感染対策委員会と連携し院内感染感染拡大防止ができる	研修医への学習内容 医療監視の目的と内容を知る 法令と根拠を理解する 院内感染対策委員会のしくみを理解する	保健所と院内感染対策委員会との連携を理解させる 医療監視の目的と役割を理解させる		院内感染対策マニュアル 医療法	立ち入り検査時	どのように評価するか 観察記録	指導医へのフィードバック 見学だけに終わらせ ない	
衛生研究所	⑩感染症に応じた検査診断が行える	院内感染対策について知る 検体の処理の概略を理解する	検体の扱い、検査に要する時間 などを中心に指導する。		所内マニュアル	研修終了後	レポート		
感染症予防講習会の講師	①届け出後の行政対応を理解する ⑦感染症対策について患者、家族に説明できる	検体の取り扱いを知る 検査の流れを理解する 食品衛生の立ち入り検査 保育所等の職員への講義し理解してもらう	講義上での注意点の指導する		所内資料 パンフレット パソコン	準備終了時	シミュレーション (予行演習)		
HIV検査	③患者家族のプライバシーに配慮して対応する ⑧感染症結核サーベイランスが利用できる	HIV検査前カウンセリングとHIV結果返却を行う HIVおよびHIV/AIDSについて説明する	検査希望者に人権に配慮してわかりやすく説明させる 受診者の不安を解消し予防行動につなげる		HIVパンフレット 統計資料	準備時	シミュレーション 客観試験	知識のみに終わらず ポイントを理解してい るか	

感染症対策
結核編
ケース①
Bグループ

1

ケース① 15歳 女性

症状 1ヶ月前から咳が続いている。
ここ1週間は微熱もあるとこのことで、
近くの病院を受診し、胸部X線写真を撮影した。

質問①: 診察後本人に何を話しますか。

2

キーワード①

- ・感染拡大予防について指示しましたか
- ・結核を念頭に置いた説明をしましたか

3

抗生剤の治療1週間後、胸痛と血痰が出現し、再度受診したので入院させた。

・ 質問②
どんな検査をしますか？

4

キーワード②

- ・ 喀痰検査
- ・ 家族に同様な症状の者の有無

5

菌検査の結果、塗抹陽性ガフキー4号との結果が検査室より報告された

質問③
次に何をしますか？

6

キーワード③

- ・ 細菌検査の確認(PCRの確認)
- ・ 保健所へ相談
- ・ 院内感染症対策委員会との連携
- ・ 結核の発生届出

7

質問④

実際に届け出用紙を作成しなさい。

8

キーワード④

結核予防法
発生時の届け出は2日以内

9

本人へ検査の結果と、結核の説明を行いました。

質問⑤

本人に説明する内容は？

10

キーワード⑤

- ・結核について
- ・感染経路
- ・結核病院への転院について
- ・感染拡大予防策
- ・届き出が必要な感染症であること

11

保健所医師Bは、22条の届け出を持参した母親から、受理しました。

質問⑥

- ・母親にどんな情報を尋ねますか？
- ・どのような保健指導をしますか？

12

キーワード⑥

- ・家族構成
- ・感染予防の指導
- ・検診の必要性
- ・公費負担制度の説明
- ・結核予防法
- ・保健所の役割

13

結核病院から35条の公費負担が提出されました。医師Bは担当保健師に本人面接を指示しました。

質問⑦

- ・どのような話をし、内容を聞き取ってくるように指示しますか？

14

・家族構成：

父：45歳会社員、
母：40歳主婦、
弟：10歳小4、
祖母：70歳

・本人の状況：
中学3年で、入院直前まで通学していた。クラブはパソコンクラブで週3日放課後2時間行っていた。塾は週3回、通っていた。

16

保健所内で検討会議を開催した。患者の感染危険度を判断して、接触者検診の計画を討議した。

質問⑧

接触者検診の対象者とスケジュールを立案しなさい。

17

キーワード⑦

- ・結核対策における保健所の役割
- ・病状調査、接触者検診のための日常生活調査
- ・感染拡大防止のための指導
- ・命令入所
- ・服薬指導

15

キーワード⑧

- ・感染危険度指数
- ・定期外検診

18

結核診査会が開催され、承認されました。

質問⑨

結核の診断、治療について述べなさい。

19

キーワード⑨

- 標準治療
- DOT
- X線の学会病型分類

20

結核サーベイランスに患者情報を
入力しました。

- 質問⑩: 結核サーベイランス情報から、保健
所管内の蔓延状況を把握しなさい。

21

キーワード⑩

- サーベイランス
- 罹患率
- 定期病状報告書

22